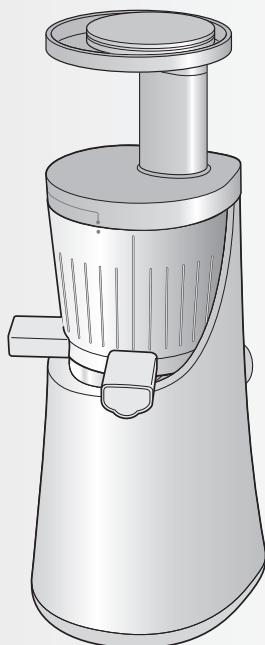


取扱説明書

形名
イージェイ シー ピー

EJ-CP1



HEALSIO
ヘルシオ ジュースプレッソ

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書(保証書付)をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ご使用の前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

●この取扱説明書(保証書付)は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

※業務用として、使用しないでください。

HEALSIO
ヘルシオ ジュースプレッソ

HEALSIO
juicepresso

のロゴ 及び ヘルシオジュースプレッソはシャープ株式会社の商標です。

製品登録の
お願い



COCORO MEMBERS

オンラインでの各種サポートサービスをご利用いただくために、
シャープの会員サービス〈COCORO MEMBERS〉をご愛用
製品の登録をお願いいたします。(登録無料)

<https://club.sharp.co.jp/m/>

スマートフォンは
こちらから



もくじ

ページ

はじめに	安全上のご注意	2
	使用上のご注意	3
	各部のなまえ・付属品	4

使いかた	組み立て方法(分解方法)	6
	ジュースを絞る	10
	フローズンを作る	12

必要なときに	お手入れ	14
	食材について	18
	故障かな?	20
	保証とアフターサービス	22
	仕様	22
	お客様ご相談窓口のご案内	23

裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

□の数字は、主な説明のあるページを示しています。

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたで生じる内容を、
次のように区分して説明しています。



警告 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。



注意 「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。

■お守りいただく内容の種類を
次の図記号で説明しています。



してはいけないこと。



しなければならないこと。



警告

感電や漏電、発火などによる事故やけがを防ぐために

分解・修理・改造はしない



分解禁止

- 自分で絶対に分解・修理・改造をしない (感電・火災・けがの原因)
修理は、お買いあげの販売店、またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。 (23ページ)

子供だけで使わせない



- 乳幼児の手の届く所で使用・保管をしない
(感電やけが、小さな部品を誤って飲み込み窒息などのおそれ)

本体を水でぬらさない



水ぬれ禁止

- 本体を水につけたり、水をかけたりしない
(感電・ショート・故障の原因)

異常・故障時には、直ちに使用を中止する



- すぐに電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する (発煙・発火・感電・けがのおそれ)
- 電源プラグやコード、本体が異常に熱くなる。
- コケ臭いにおいがしたり、異常な音や振動がする。
- タンクなどの部品にひびや破損箇所がある。
- その他の異常や故障がある。

電源プラグやコードは、乱暴に扱わない 定期的にほこりを取り除く



- ゆるんだコンセントは使わない
- 傷んだ電源プラグやコードは使わない
- 傷付けたり、変形させない
- 収納時にコードを本体に巻き付けない
無理に曲げる・引っ張る・ねじる・
束ねる・重い物をのせる・挟み込む・
加工する・高温部に近付けるなどを
しない。
(火災・感電・ショートの原因)



- 定格電圧(交流100V)以外で使わない
- 電源プラグは根元まで、確実に
差し込む
(発火の原因)
- 定期的に電源プラグに付いたほこりを
乾いた布で拭き取る
(ほこりがたまると、火災の原因)



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
- ぬれた手で電源スイッチを触らない
(感電・故障の原因)

投入口などに指・スプーン・はし・清掃用ブラシなどの異物を突っ込まない



- 投入口・ジュース出口・絞りかす/フローズン出口に指・スプーン・はし・清掃用ブラシなどの異物を
入れて運転しない
(故障・けがの原因)



注意 けがを防ぎ、家財などを守るために

安全な場所で使用する



- 丈夫で安定した水平な場所に置く
(騒音や振動、ガタ付きの原因)
- 不安定な場所で使わない
(落下によるけがや製品の破損の原因)
- 水のかかる所や火気の近くで使わない
(変色・変形・感電・火災の原因)
- 壁や家具の近くで使わない
(壁や家具の汚れの原因)

電源プラグは正しく扱う



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かない
(断線やスパークして、発火の原因)



- 電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源スイッチが「停止」の状態でおこなう（けがの原因）



- 部品の取り付け・取りはずし・お手入れは、必ず電源スイッチを「停止」の状態にし、電源プラグをコンセントから抜いておこなう
(感電・けがの原因)
- 使用時以外は、電源スイッチを「停止」の状態にし、電源プラグを抜く
(絶縁劣化などで感電や漏電・火災の原因)

その他

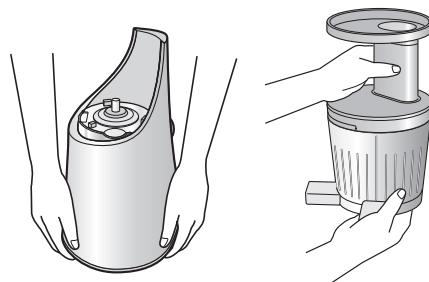


- 運転中に移動させない
(けが・破損の原因)
- 穀物粉碎用として使用しない
- カラ(食材なし)の状態で1分以上運転をしない
(破損の原因)
- 桃のような大きく固い種があるものはそのまま投入しない
(故障の原因)
- 運転中はフタを開けない
(けがの原因)
- 直射日光が当たる場所で使用、保管しない（製品の変色の原因）



- 移動させるときは、電源プラグを抜き、本体とタンクを分けて持つ
(落下によるけがや製品の破損の原因)

正しい持ちかたの例



使用上のご注意

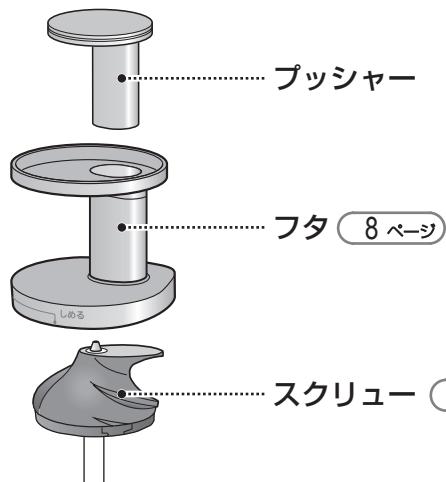
- ジュース用のフィルターとフローズン用アタッチメントがあります。必ず、用途に合わせて使い分けてください。（破損・故障の原因）
- 食材の投入は、少しずつ、5秒ぐらいの間隔をあけてください。間隔をあけずに投入すると、以下の原因となります。
 - ・ 食材がタンク内に溜まり、ジュースやフローズンが出てこない。
 - ・ フタが開かなかつたり、タンクが本体からはずれにくくなる。
 - ・ タンクに無理な力がかかる、ヒビや割れが発生する。（けが・破損の原因）
- フローズンは、冷凍室から出してすぐの食材は使わないでください。
 - ・ 室温に置き、包丁でサクッと切れる固さになってから投入しないと、食材の凍ったかけらが投入口から飛び出すおそれがあります。

ジュース用 フローズン用



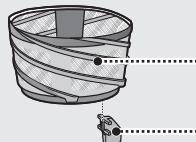
各部のなまえ・付属品

ご使用の前に、本体以外の部品を洗ってください

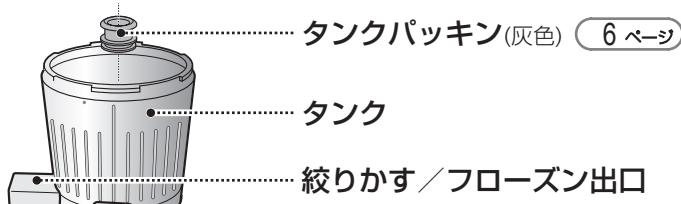


ご使用前に部品を洗ってください

- 分解するときは組み立て方法(6~9 ページ)と逆の手順でおこなってください。
- お手入れ方法は(14~17 ページ)をご覧ください。



ジュースを絞るときに



タンクパッキン(黄色) (6 ページ)

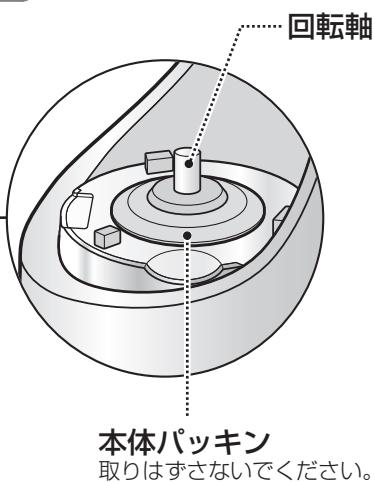
取りはずさないでください。

ジュース出口

電源スイッチ (5 ページ)

本体
水洗いはできません

電源プラグ



付属品

- ジュースカップ(黒)
- ジュースカップ(透明) (最大目盛1000mL)
- ジュースカップフタ

- ジュース(フローズン)用、絞りかす用にお使いください。
用途以外には使用しないでください。(電子レンジ加熱不可)
- 目盛りは目安のため、計量カップとしては使えません。
- ジュースカップフタは、ジュースカップ(透明)用です。
ジュースを入れて冷蔵室で冷やすことができます。
ただし、密閉できるものではありません。



フローズンを作るときに

- フローズン用アタッチメント
- フィルターと交換して使います。



- ジュースキャップ(黄色)

- フローズンを作るときや、ジュースを絞ったあとの
ジュース出口の栓として、お使いください。



- 清掃用ブラシ

- フィルター専用です。他の部品を洗わないでください。



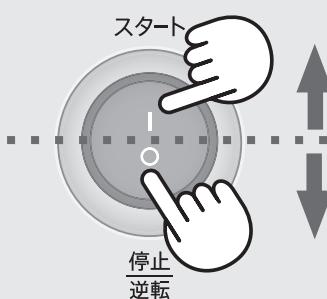
- 取扱説明書(保証書付)

- メニュー集

当商品は日本国内向けであり、日本語以外の取扱説明書／メニュー集はありません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

※ 本体・本体部品・付属品が、使用中に破損したり、紛失したときは、お買いあげの販売店に
ご依頼ください。(有料) [23ページ](#) なお、タンクパッキン(黄色)はご自分で交換ができません。

電源スイッチの使いかた(本体背面)



スイッチ上部

- 押すと回転がスタートします。

スイッチ下部

- 押すと停止します。
- 長押しすると押している間、
逆回転し、離すと停止します。

食材が詰まったときは、「逆回転の操作」をおこないます。[\(21ページ\)](#)

ご注意

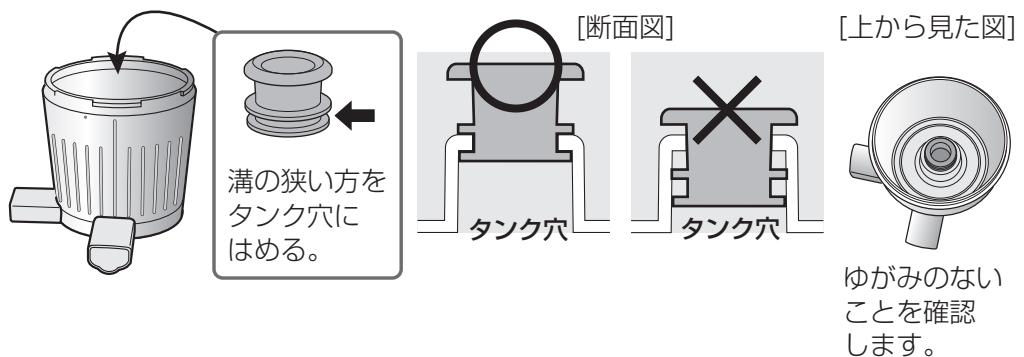
- 電源スイッチには、液体侵入防止のため、カバーが付いています。
このカバーは絶対に取りはずさないでください。

組み立て方法(分解方法)

電源プラグを抜き、安定した水平な場所で組み立てます

タンク

- 1 タンクパッキン(灰色)を取り付ける ※購入時は取り付けられています。

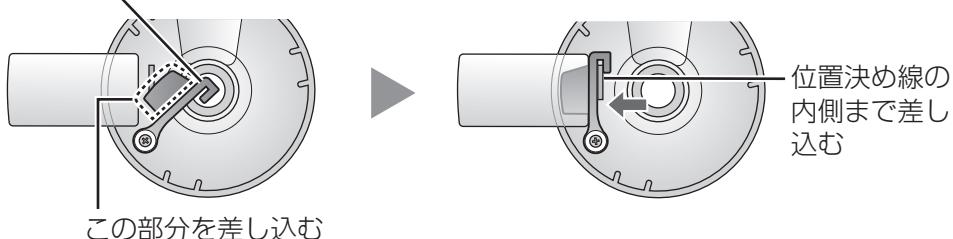


- 2 タンクパッキン(黄色)を差し込む ※購入時は取り付けられています。

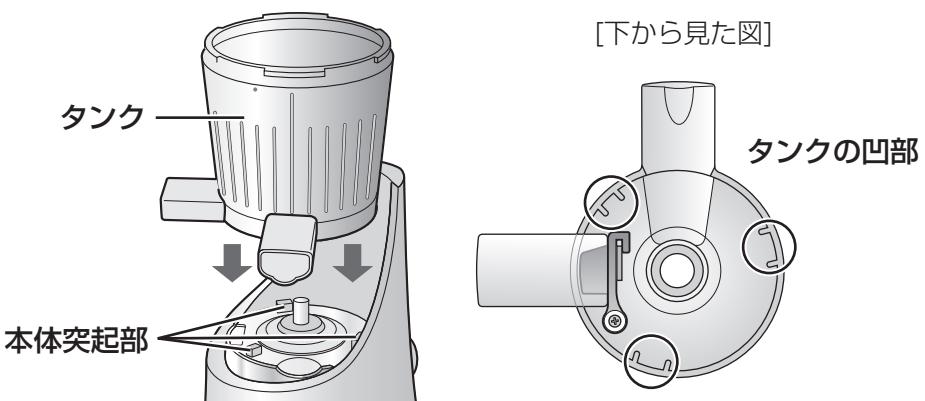
パッキンを水で少しうらすと、差し込みやすくなります。

差し込みが不十分だと、ジュースやフローズンが漏れるおそれがあります。

タンクパッキン(黄色)



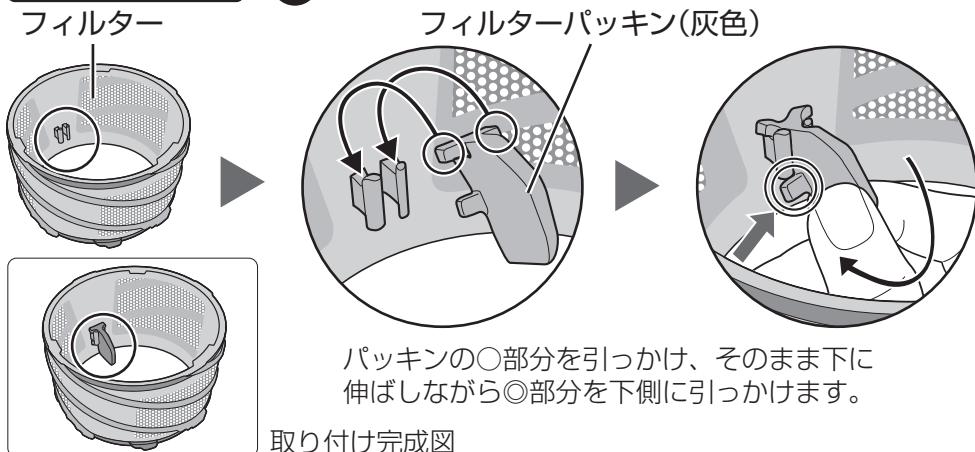
- 3 本体突起部にタンクの凹部を合わせて、セットする



④ フィルターにフィルターパッキン(灰色)を取り付ける

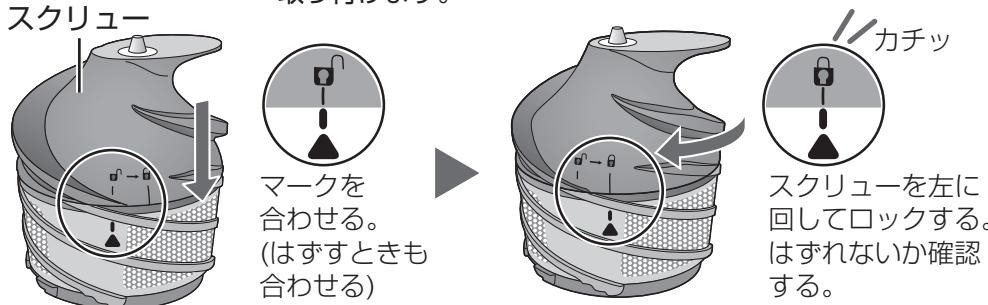
※購入時は取り付けられています。

フローズンのとき → ⑤ に進みます。



⑤ フィルターにスクリューを取り付ける

フローズンのとき → フィルターの代わりにフローズン用アタッチメントを取り付けます。



マークを合わせず無理に取り付けてしまうと、はずれなくなります。

⑥ スクリューをタンク内の回転軸に差し込む

左右に回しながら、これ以上、下がらないことを確認します。

差し込みが不十分だと、フタが閉まりません。

- スクリューとタンクのすき間に指をはさまないように、ご注意ください。

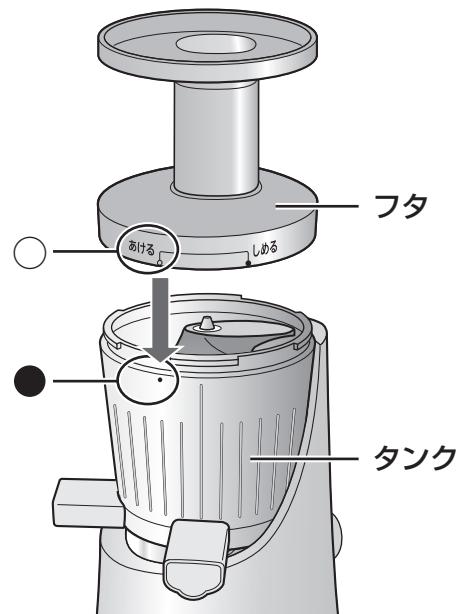
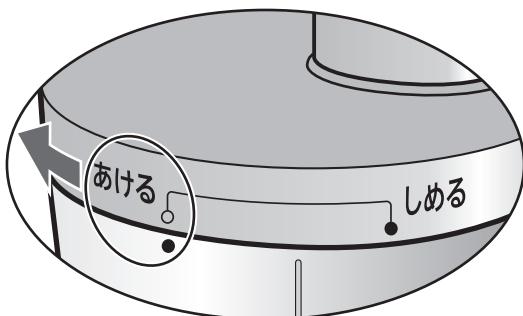


…組み立て方法(分解方法)

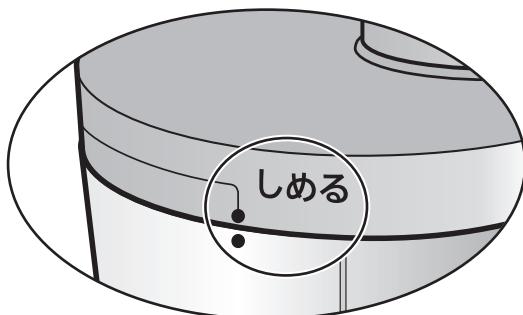
電源プラグを抜き、安定した水平な場所で組み立てます

フタ

- 7 タンクの●とフタの○を合わせて、「カチッ」と音がするまで左に回す

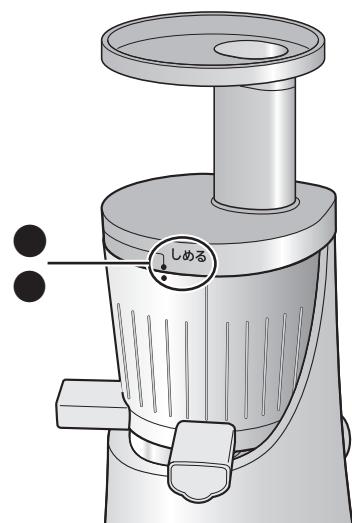


タンクとフタの●が縦にそろうと正しくセットされています



タンクとフタがすき間なく、閉まっていることを確認してください。

大切 フタが正しく閉まっていないと、電源が入りません。



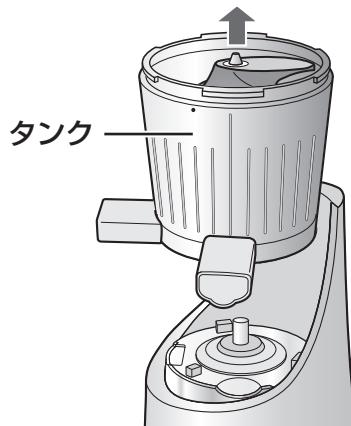
[組み立て完成]

分解方法

お手入れなどで分解するときは、組み立て方法と逆の手順でおこなってください。

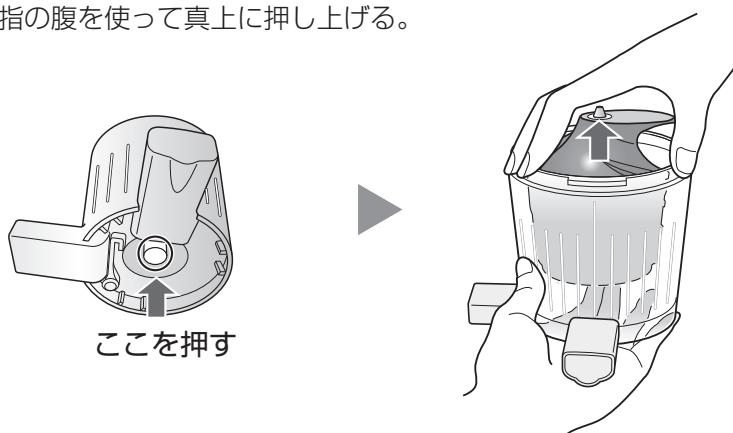
●スクリューがはずれにくいときは・・・

- 1 タンクを本体からはずす。



●本体が転倒しないよう、
ご注意ください。

- 2 タンク底面から、スクリューを
指の腹を使って真上に押し上げる。



●フタが開かないときは・・・

（21ページ）をご覧ください。

ジュースを絞る

警告



投入口などに指・スプーン・はしなどの異物を入れて運転しない

【けが・故障の原因】

食材の下ごしらえはメニュー集4~6ページをご覧ください

準備



このような食材は使えません！

けが・故障の原因になりますので、絶対に投入しないでください。

- ・氷
- ・乾燥大豆などの豆類
- ・桃などの種
- ・冷凍した食材
- ・柿(種を完全に取り除くことができないおそれ)
- ・メニュー集に記載のない乾燥食材(部品の破損のおそれ)

大切なことをおいてください

- 食材は、少しづつ、5秒ぐらいの間隔で投入してください。
食材を組み合わせるときは、交互に投入するとジュースが出やすくなります。
- 食材の詰めすぎは、スクリューがスムーズに食材を取り込めずに、ジュースが出にくくなることがあります。詰まった場合は、食材を取り除いてお手入れしてください。
- 絞りかすがジュースに混じることがあります。気になる場合は、こしてからお召し上がりください。
- タンクの中に一度に大量の食材が入るとフタが開きにくくなります。



少しづつ、5秒ぐらいの間隔で入れるのがポイントです

電源スイッチの「スタート」を押す

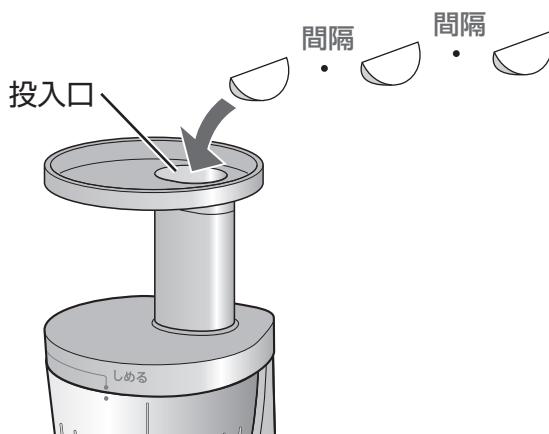
1



カラ運転を防ぐため
スタート後は、すぐに食材を入れてください。

食材を少しづつ、5秒ぐらいの間隔で投入口に入れる

2



● 食材についてのご注意をお読みください。 (18 ページ)

● プッシュヤーは葉菜類などスムーズに投入しにくい食材をスクリューに落とし込むときに使いください。多くの食材を一度に押し込むためのものではありません。



● 食材が途中で詰まったり、空回りしているときは、「逆回転の操作」をおこなってください。

(21 ページ)

スクリューが食材をゆっくり取り込み、ジュースと絞りかすがそれぞれ出てきます。ジュースや絞りかすが出にくくなってきたときは、電源スイッチをいったん「停止」し、食材を取り除いてお手入れしてください。

絞り終えたら、電源スイッチの「停止/逆転」を軽く押し、停止させる

終了



● 電源スイッチの下部を強く押し込むと、逆回転が始まりますので、ご注意ください。

● ご使用後は、電源プラグを抜き、お手入れしてください。 (14 ページ)

フローズンを作る

警告



投入口などに指・スプーン・はしななどの異物を入れて運転しない

【けが・故障の原因】

食材の下ごしらえはメニュー集18, 19ページをご覧ください

準備



- 5 食材を冷凍室から出してほぐし、室温に2~3分置く
包丁でサクッと切れる固さが投入の目安です。切れない場合は、もうしばらく室温に置いてください。

このような食材は使えません！

けが・故障の原因になりますので、絶対に投入しないでください。
・氷・桃などの種・冷凍室から出してすぐの食材

大切なことをおいてください

- ジュース用のフィルターを使用して、フローズンを作るとフィルターが破損するおそれがあります。必ずフローズン用アタッチメントをお使いください。
- タンク内に食材が詰まりやすくなるので、食材を300g程度(フローズンのでき上がり量が、ジュースカップの200mLを超えるくらいが目安)投入したら、タンク内をお手入れしてください。
- タンクやフローズン用アタッチメントの中にフローズンが残ることがあります。残っているときは、ヘラ等、やわらかいもので取り出してください。

1

電源スイッチの「スタート」を押す

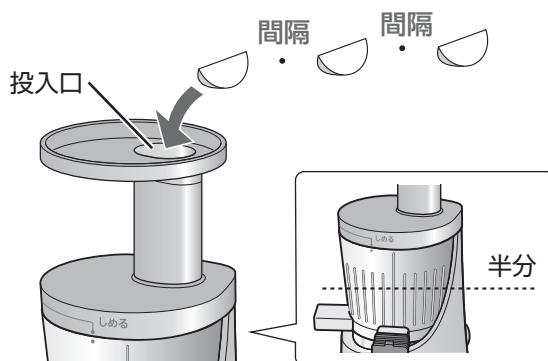


カラ運転を防ぐため
スタート後は、すぐに食材を入れ
てください。

2

食材を少しづつ、5秒ぐらいの間隔で
投入口に入れる

食材がタンクの半分まで減ってから
次の食材を投入してください。



● 食材についてのご注意をお読み
ください。 (19ページ)

● プッシャーは
スムーズに投入
しにくい食材を
スクリューに
落とし込むとき
お使いください。
多くの食材を一度に押し込む
ためのものではありません。



● 食材が途中で詰まったり、空回
りしているときは、「逆回転の
操作」をおこなってください。

(21ページ)

スクリューが食材をゆっくり取り込み、フローズンがフローズン出口から出てきます。
スクリューの回転がゆっくりになったときは、食材の投入をいったん止めてください。
通常の速度に戻ったら、再び投入してください。

作り終えたら、電源スイッチの
「停止/逆転」を軽く押し、停止させる

終了



● 電源スイッチの下部を強く
押し込むと、逆回転が始まりますので、ご注意ください。
● ご使用後は、電源プラグを抜き、
お手入れしてください。 (14ページ)
● タンク内に残った食材はヘラ等
やわらかいもので取り出して
ください。

お手入れ

！注意

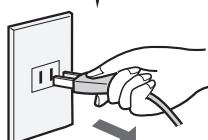


必ず電源プラグをコンセントから
抜いておこなう

【感電・けがの原因】

使ったら、早めに分解してお手入れを！ 分解方法 9 ページ

電源プラグを抜く



次のものは使わないでください

(塗装のはがれ・傷付き・変色・内部に液が浸透し故障の原因)



シンナー
ベンジン
アルコール



磨き粉
塩素系漂白剤



住宅用・家具用・
換気扇用合成洗剤
酸性・アルカリ性洗剤



スプレー式洗剤
金属タワシ
硬めのスポンジ
メラミンスポンジ

本体

固く絞ったふきんで水拭きする
水洗いしないでください



回転軸周辺

電源スイッチ



電源プラグ

回転軸周辺・電源スイッチ

スプレー式の洗剤を直接かけたり、
水分を多く含んだ布で拭かない。
(液が浸透し、故障の原因)

電源プラグ

乾いた布でほこりを拭き取る。
(ほこりがたると、火災の原因)

お手入れ後は
よく乾燥させて
ください。



本体以外の部品

やわらかいスポンジで水洗いする



- 汚れが取れにくい場合は、台所用合成洗剤(中性)を使います。

タンク

フィルター

詳しい洗いかた (16, 17 ページ)

食器洗い乾燥機などでの使用について

○ 使えます

各部品の耐熱温度を参考に、食器洗い乾燥機・食器乾燥器の取扱説明書をよくお読みになってからお使いください。

(必ず、絞りかすを取り除き予洗いしてください)

お手入れ



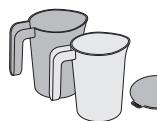
フタ
(耐熱温度 95°C)



ジュースキャップ
(耐熱温度 200°C)



スクリュー
(耐熱温度 200°C)



ジュースカップ(黒)(透明)
ジュースカップフタ
(耐熱温度 90°C)



フィルター
(耐熱温度 200°C)



フローズン用アタッチメント
(耐熱温度 200°C)



タンク
(耐熱温度 125°C)



清掃用ブラシ
(耐熱温度 95°C)



パッキン類
(耐熱温度 200°C)

✗ 使えません



プッシャー

ご注意

- 清掃用ブラシのブラシ部分はフィルター専用です。
(他の部分を洗うと傷が付くおそれ)
- 各部品は、食材の色素によって変色することがあります、ご使用上問題ありません。早めにお手入れすると取れやすくなります。

汚れが気になるときは

ジュースキャップ・タンク・パッキン類は酸素系漂白剤が使えます。

…お手入れ

注意



必ず電源プラグをコンセントから
抜いておこなう
【感電・けがの原因】

使ったら、早めに分解してお手入れを！ 分解方法 9 ページ

タンク

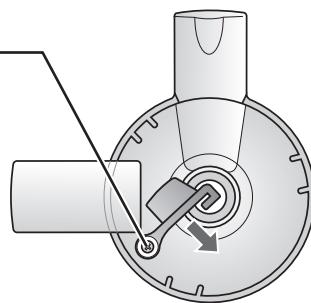
タンクパッキン(黄色)は、引き出して洗います。

タンクパッキン(灰色)は、抜き取って洗うことができます。

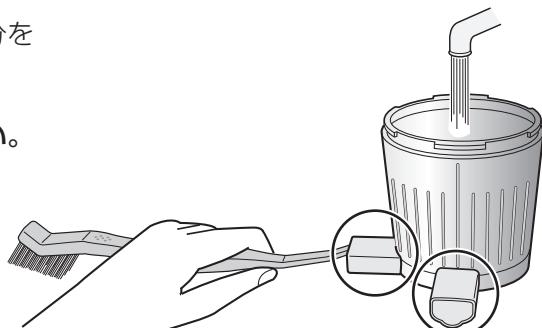
- 1 タンクパッキン(黄色)の先端部分をつまみ、
引き出す。

[下から見た図]

ネジは、はずさないでください。



- 2 やわらかいスポンジで水洗いする。
タンクの口は、清掃用ブラシの柄の部分を
差し込んで洗う。
ブラシ側でタンクを洗うと傷が付く
おそれがありますので、おやめください。



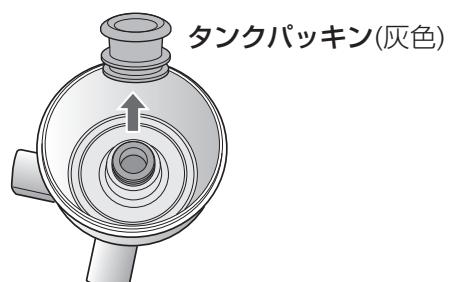
お手入れ後は、水気を取る

タンクパッキン(灰色)

[上から見た図]

- 1 タンク穴から抜き取って、やわらかいスポンジで
水洗いする。

- 2 タンクのお手入れ後は、タンクパッキンの
水気も拭き取り、溝の狭い方から少しづつ
タンク穴にはめる。 6 ページ

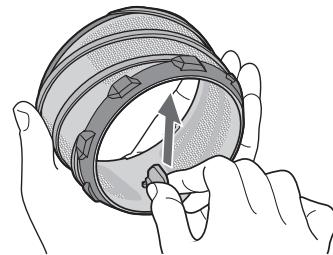


お手入れ後は
よく乾燥させて
ください。

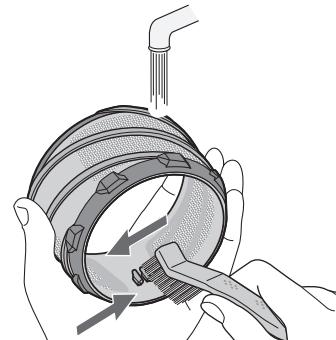


フィルター

- 1 内側に付いているフィルターパッキンを取りはずして洗う。



- 2 金属部分は、清掃用ブラシを使い、
流水で洗う。



お手入れ後は、水気を取り、フィルターパッキンを元の位置に取り付ける。[7 ページ](#)

ご注意

- 取りはずしたジュースキャップやパッキン類は、放置せず元の位置に正しく取り付けてください。
(紛失や幼児による誤飲のおそれ、故障・ジュース漏れの原因)
- パッキン類は、ご使用のたびにお手入れしてください。
(カビや雑菌の繁殖のおそれ)
- しばらくご使用にならないときは、パッキン類をよく乾燥させてから保管してください。

食材について

メニュー集もあわせて
お読みください(4~6、
18,19ページ)



ジュースを絞るとき (10, 11ページ)

新鮮な食材をお使いください

- みかん、オレンジ、レモンなどの柑橘類
 - ・外皮を厚めにむき、適当な大きさに分けてください。
種や薄皮は付いた状態で投入できます。
- バナナ、パイナップル、キウイなど皮をむいて食べるもの
 - ・皮をむいてください。
- パイナップル、とうもろこしなど固い芯のあるもの
 - ・芯を取り除いてください。
- にんじん、大根、しょうがなど、皮も食べられる野菜
 - ・皮をむかずに投入できます。
- りんご
 - ・ヘタを取り、くし切りにしてください。
※ 小さく切りすぎると、うまく絞れないことがあります。りんごなど褐変しやすい果物は、ジュースにしたあと、時間の経過とともに茶色になります。
- スイカ、メロン
 - ・皮をむいてください。
種の付いた状態で投入できます。
- 桃など大きく固い種があるもの
 - ・種は取り除いてください。
皮はむかずにそのまま投入できます。
- 小松菜、キャベツ、ケールなどせんいの多いもの
 - ・小さく切ってください。
 - ・小松菜、キャベツなどは、ジュースの表面に泡が立ちますが、そのままお召し上がりいただけます。気になる場合は、スプーンなどで泡を取り除いてください。

このような食材は使えません！

- けが・故障の原因になりますので、絶対に投入しないでください。
- ・氷
 - ・乾燥大豆などの豆類
 - ・桃などの種
 - ・冷凍した食材
 - ・柿(種を完全に取り除くことができないおそれ)
 - ・メニュー集に記載のない乾燥食材(部品の破損のおそれ)

食材投入のポイント

- 食材を投入した際や、フタを取りはずすときに、果汁などが飛び散ることがありますので、ご注意ください。
- 水煮した大豆、バナナなどは水分が少ないため、水や牛乳と一緒に投入口に入れてください。水や牛乳と一緒に投入しないと、うまくジュースになりません。
- にんじんは、水分が少なく、せんいが多いので、絞りかすが多く出ます。
- 葉菜類を絞るときは、水分の多い果実と組み合わせると絞りやすくなります。
- 葉と茎のある野菜は、葉と茎を交互に投入してください。
- 小松菜やキャベツなどの葉菜類や薄切りにした食材は、スクリューとタンクの隙間に入り込み、うまく絞れない場合があります。その場合は「逆回転の操作」をおこなってください。(21ページ)
- キャベツなどは、運転中に大きな音がする場合があります。
- 乾燥した食材は使えません。
大豆などは、あらかじめ加熱されたものや、十分に水に浸して柔らかくしたものを使います。
- 小さな種(りんご・ぶどう・すいかなど)は、そのまま果肉と一緒に投入できます。
大きく固い種(桃など)は、取り除いてください。
- バナナ、キウイ、いちごなどは、果肉成分が絞りかすの方に多く含まれることがあります。

フローズンを作るとき (12, 13ページ)

あらかじめ冷凍させた食材を使います

- 食材を投入口に入る大きさに切り、フリーザーパックなどに入れ、食材が重ならないように平らにして冷凍します。投入前にくっついている場合は、手で割つてから投入します。
- ヨーグルトなどやわらかいものは製氷機を使うと便利です。(水やジュースなどの液体は使えません)
- みかん、オレンジなどのかんきつ類
 - ・外皮をむき、種を取ってくし切りにします。薄皮をむくとなめらかに仕上がります。
- バナナ
 - ・皮をむいて、2cmの輪切りにします。
- パイナップル、キウイ
 - ・皮をむいて、芯があるものは取ります。
- りんご、パプリカ、トマト
 - ・ヘタや芯、種を取ります。
皮をむくとなめらかに仕上がります。
- にんじん、かぼちゃなど
 - ・2cm角に切り、ゆでます。
- ほうれん草など
 - ・ゆでて、2~3cm長さに切れます。
- 市販の冷凍果物
 - ・そのまま使えます。
- 市販のカットフルーツ
 - ・皮や種を取り除きます。
- 缶詰
 - ・汁気をきります。

食材投入のポイント

- 冷凍室から出してすぐの食材は使えません。包丁でサクッと切れる固さになったら投入します。目安は、2~3分ですが、食材や室温によって異なります。
- スクリューの回転速度がゆっくりになったときは、投入をいったん止めてください。通常の速度に戻ったら、再び投入してください。
- 固い食材は、運転中に大きな音がする場合があります。
- 投入口をのぞきこまないでください。(食材が飛び出すおそれがあります)

このような食材は使えません！

- けが・故障の原因になりますので、絶対に投入しないでください。
- ・氷
 - ・桃などの種
 - ・冷凍室から出してすぐの食材

ご注意

- 食材の鮮度や収穫時期によって、ジュースの量は変わります。
- 食材は少しづつ、5秒ぐらいの間隔で投入してください。
- 一度に大量の食材を入れないでください。詰まって止まることがあります。
(運転途中で停止したとき (20ページ))

故障かな？

修理依頼やお問い合わせの前に
もう一度お調べ
ください



こんな場合

故障ではありません

動かない
(電源が入らない)

- 電源プラグが抜けていませんか？
 - フタを正しくセットしていますか？ [8 ページ](#)
- タンクの●とフタの○を合わせ、「カチッ」と音がするまで左に回してください。正しく閉まっていないと、電源スイッチを押しても動作しません。

運転途中で停止した
(電源が切れた)

- フタは閉まっていますか？
電源スイッチを「停止」にして、フタを「カチッ」と音がするまで閉め直してから、「スタート」を押してください。
- 食材を多めに入れていませんか？
「逆回転の操作」をおこなってください。 [21 ページ](#)
- 20~30分連続して運転していませんか？
食材を入れすぎたり、長時間の連続運転をすると、モーターの保護装置がはたらき、自動的に停止します。
停止した場合は、次の操作をしてください。
 - ① 電源スイッチを「停止」にする
 - ② 電源プラグを抜く
 - ③ 食材を減らす(取り出す)…フタが開かない [21 ページ](#)
 - ④ 電源プラグを差し、電源スイッチの「スタート」を押す
電源が入るまで5分程度かかることがあります。

運転中にタンクや本体が
揺れる

- タンクと本体が分離式のため、置き場所や電源スイッチの切り替え、負荷の大きな食材の投入などで、少し揺れることがあります。

絞りかすに水分が多い

- フィルターが詰まっていますか？
(お手入れ [17 ページ](#))

運転中に大きな音がする

- モーターやスクリューが回転する音です。
大きく感じることがあります、異常ではありません。
食材や投入スピードによって音が変化します。

運転中に「ウゥーン」など
のうなり音がする

- 食材を少しずつ、5秒ぐらいの間隔をあけて投入していますか？
- フローズンの場合は、包丁でサクッと切れる固さの食材を
入れていますか？
入れるときは、食材がタンクの半分まで減ってから
次の食材を入れてください。

タンクと本体の隙間
からジュースが漏れる

- タンクパッキン(灰色・黄色)が、正しく取り付けられていますか？ [6 ページ](#)

こんな場合

故障ではありません

フタが閉まらない

- タンクパッキン(灰色)を正しく取り付けていますか? 6 ページ
- スクリューにフィルター(またはフローズン用アタッチメント)が正しく取り付けられていますか? 7 ページ
- スクリューをタンクにしっかりと差し込んでいますか? 7 ページ

フタが開かない

- タンクの中に食材が詰まっていますか?
下記、「逆回転の操作」をおこなってください。
- フローズンのときは、少し時間をおいて再度フタを開けてください。食材が溶けると開けやすくなります。

スクリュー、フィルター、
フローズン用アタッチメント
に傷がある

- 傷のように見えるものがありますが、製造時に発生するもので、ご使用には差し支えありません。

ジュースが出ない
ジュースの量が少ない

- 食材を投入するときは、少しずつ、5秒ぐらいの間隔で投入していますか?
- 絞り始めは絞った食材がタンクの中に残るため、投入する食材が少ないと、ジュースが出てこない、またはできあがり量が少ないことがあります。
- 葉菜類など、食材によっては運転途中でジュースが出にくくなることがあります。
下記、「逆回転の操作」をおこなってください。
- 食材500gを投入したときのジュースの量の目安は次の通りです。

りんご	約300g
にんじん	約150g
小松菜	約250g
オレンジ	約300g

(食材の鮮度や収穫時期によって、
ジュースの量は変わります)

逆回転の操作

①電源スイッチの「停止/逆転」を軽く押し、停止させる。

②「停止/逆転」を長押しし、数秒間逆回転する。

③指を離して逆回転を停止させる。

④「スタート」を押し、数秒間動かす。

(必ず、「逆転」で運転した後は、「スタート」に合わせて数秒間運転してください。

この操作をしないでタンクからスクリューを取り出すると、スクリューからフィルターまたはフローズン用アタッチメントがはずれ、落下するおそれがあります)

※「逆回転の操作」をしても、正常に動かない場合は、電源スイッチを「停止」にして、電源プラグを抜きます。タンクを本体からはずし、安定した場所に置いてスクリューを抜き、残った食材や詰まつたものを取り除いてお手入れしてください。

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは

持込修理

- 1 「故障かな?」(20, 21 ページ)を調べてください。
- 2 それでも異常があるときは使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてください。
- 3 お買いあげの販売店に、ご連絡ください。

この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。また、アフターサービスもできません。

保証期間中

- 修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

- 修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

- 修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

保証書(裏表紙にあります)

- 保証期間…お買いあげの日から1年間です。

保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

※一般家庭用以外(例えば、業務用、車両・船舶への搭載)に使用された場合の故障・損傷など有料です。

補修用性能部品の保有期間

- 当社はスロージューサーの補修用性能部品を製品の製造打切後、7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。



長年ご使用の場合は商品の点検を!
こんな症状はありませんか?

- 電源プラグやコードが異常に熱くなる。
- コゲ臭いにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がする。
- 触るとビリビリと電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

仕様

電 源	交流100V 50-60Hz共用		
定格消費電力	100W		
外形寸法※1	幅150mm×奥行177mm×高さ425mm		
質 量	約4.7kg		
1分間当たりの回転数	32回転※2	運転時間	連続30分※3
1時間当たりの待機時消費電力量	約1.0Wh	電源コードの長さ	約1.4m

※1 絞りかす出口、ジュース出口を含みません。

※2 32回転は、負荷が20Nmのとき。無負荷または軽負荷のときは、約56回転です。

※3 30分以上使用する場合は、30分ごとに5分程度停止させてください。

ただし、固いにんじんや、水分が少ない水煮した大豆、食物せんいが非常に多い
しうがは、連続20分以上の運転をしないでください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。

ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

※弊社では、確実なお客様対応のため、フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。



いつでも便利なWebサービス【シャープオンラインサポート】

ご質問やお困りごとは、気軽にアクセス、しっかりアシスト！

シャープ お問い合わせ

<http://www.sharp.co.jp/support/>

スマートフォンや
携帯電話はこちらから



インターネットから修理のお申し込みや進捗確認も24時間サポート

シャープ 修理相談

<http://www.sharp.co.jp/support/repair.html>

スマートフォンや
携帯電話はこちらから



使用方法のご相談など【お客様相談室】

おかげ間違いのないようにご注意ください。
受付時間 (年末年始を除く) ●月曜～土曜：9:00～18:00 ●日曜・祝日：9:00～17:00

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル

0120-078-178

携帯電話からは、ナビダイヤル

0570-550-449

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電話	FAX
050-3852-5405	06-6792-5993

〒581-8585 大阪府八尾市北龜井町3丁目1番72号



修理や持込修理のご相談など【修理相談センター】

おかげ間違いのないようにご注意ください。
受付時間 (年末年始を除く) ●月曜～土曜：9:00～20:00 ●日曜・祝日：9:00～17:00

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル

0120-02-4649

携帯電話からは、ナビダイヤル

0570-550-447

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電話	FAX
050-3852-5520	06-6792-3221

〒581-8585 大阪府八尾市北龜井町3丁目1番72号

※沖縄県にお住まいのお客様については、那覇サービスセンターにおかけください

電話：098-861-0866 (受付時間：年末年始を除く月曜～金曜 9:00～17:00)

■QRコードについて

スマートフォンやタブレット端末のバーコードリーダーで読み取ってください。(読み取れない場合は近傍に表記のアドレスを直接入力してください)
誘導されるサイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担になります。QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

シャープ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただいております。
個人情報は適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報の開示・訂正、利用訂正等の請求その他お問い合わせは、シャープ株式会社個人情報ご相談窓口にご連絡ください。
電話番号：[06-6792-8004 (受付時間：平日、9:00～12:00、13:00～17:00) ただし、祝日など弊社休業日を除く]
個人情報の取扱いの詳細については、<http://www.sharp.co.jp/privacy/index-j.html>をご参照ください。

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2017.10)

お問い合わせ先

お問い合わせの前にもう一度「故障かな?」(26~29ページ)をご確認ください。

- お客様ご相談窓口からのお問い合わせ (31ページ)

Webもご活用ください。

- [シャープ お問い合わせ ジューサー](http://www.sharp.co.jp/support/juicer/)

<http://www.sharp.co.jp/support/juicer/>



Q&A 情報

よくあるご質問などを掲載



ピックアップ情報

特にお問い合わせの多い情報を掲載

シャープ株式会社

本

健康・環境システム事業本部

社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地

〒581-8585 大阪府八尾市北龜井町3丁目1番72号